

鎌ヶ谷市青少年センターだより

No.142

# 緑の子

令和2年10月発行  
発行・編集  
鎌ヶ谷市青少年センター  
☎273-0101  
鎌ヶ谷市富岡2-6-1  
(生涯学習推進センター内)  
☎047-445-4393

## 青少年の健全育成を目指して

青少年センター所長 松本 茂隆

本年4月より、青少年センターに赴任いたしました。皆さま、よろしく願います。

今年は、「新型コロナウイルス感染症」の拡大で、私たちはかつて経験したことのない自粛や制限の下で生活しています。

それは子どもたちも同じで、学校の臨時休校に始まり、夏休みの短縮、修学旅行や運動会の学校行事の中止など、多くの我慢を強いられています。特に、「休校中は外出できない」「友達にも会えない」という状況で自宅にいる時間が長くなったため、テレビゲームやネットゲーム、SNSによる画像や動画の閲覧・投稿などに夢中となった子どもたちも多かったのではないのでしょうか。

当センターでは、子どもたちの健全育成と非行防止を目指して、補導や各種相談など、さまざまな活動に取り組んでいます。元年度の補導状況では、全体的には落ち着いていた年だったのではないかと感じています。これも、学校、地域の皆さまのご協力、青少年補導員さんたちの地道な「声かけ活動」の成果だと言えるでしょう。

補導状況では、自転車の二人乗りや無灯火走行が多く、喫煙、駅や公園でのたむろも目につきました。スケートボードやスキップボードの路上走行も多数見受けられます。先日は、都内でスケートボードに乗っていた男児が車に轢かれて死亡するという事故も発生しています。

一方で、SNS上での誹謗中傷の書き込みや不適切な画像投稿による被害が社会問題となっており、子どもたちが被害者、もしくは加害者とならないよう問題のある書き込み・画像などを早期に見出し、拡大を防ぐため、「ネットパトロール」にも力を入れています。さらに、子どもたち

の悩みごとを匿名でも相談できる「青少年インターネット目安箱」を設置し、相談しやすい環境づくりに努めております。

今年度も、青少年センターでは、子どもたちの健全育成を目指し、非行の早期発見に努めてまいります。そのためには学校・家庭・地域・警察等が連携を密にして、市全体で見守っていくことが不可欠です。改めまして、皆さまのご協力をお願いいたします。

## 鎌ヶ谷市青少年補導員連絡協議会理事会を開催

令和二年八月三日(月)、中央公民館において、「令和二年度第一回鎌ヶ谷市青少年補導員連絡協議会理事会」が開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、しばらく活動ができない状態にありましたが、各学校区で班及び部会の開催日程が決まり、具体的な活動が始まりました。

## かまがや83+ (はちさんぶらす)運動

＝不審者から子どもたちを守ろう＝

「83運動」とは、「子どもの登下校時間(午前8時前後と午後3時前後)に、大人がなるべく外に出たり、買い物や犬の散歩などをしたりしながら、子どもの存在に意識を向け見守ることを生活の一部にする」というものです。

市では、これに「感謝」「応援」「願い」などの気持ちをさらにプラス(+)して、「かまがや83+ (はちさんぶらす)運動」としました。

市内の自治会や商店会、さまざまな団体と協力しながら、この運動を広め、市全体で子どもたちを見守っていきましょう。







